

2021年度末 公開予定

高島華宵大正ロマン館所蔵 近代日本大衆雑誌図像 データベース

Database of Visual Images in Modern Japanese Popular Magazines
from the Kasho Museum Collection

明治末期から昭和初期に刊行された大衆雑誌雑誌37種405冊のうち、表紙・目次・口絵・裏表紙などのメタデータとそのIIIF画像約2000点からなる「高島華宵大正ロマン館所蔵近代日本大衆雑誌図像データベース」を2021年度末に公開いたします。

このデータベースは、日文研大衆文化研究プロジェクト・大正イマジュリィ学会・高島華宵大正ロマン館との連携による研究推進活動の一環として構築されました。高島華宵を中心とする表紙絵・挿絵を含む大衆雑誌のイマジュリィ——イメージ図像を指すフランス語で、挿絵・ポスター・絵はがき・広告・漫画・写真など大衆的な図像の総称——は、大正イマジュリィ学会設立の根幹をなし、大正期の大衆文化の視覚的側面を考えるうえで重要な資料です。また、これらのイマジュリィ資料の公開を通して、美術史・文化史・社会学・歴史学などの多領域にわたる研究に資すること、そして、その魅力を伝えることを目的としています。



『婦人世界』22巻4号, 1927年
(表紙絵《花散る日》, 高島華宵・画)

公開後は、次の方法で、日文研の「データベース一覧」ページからご利用いただけます。

<http://db.nichibun.ac.jp> に直接アクセス、または

日文研 データベース

検索



『婦人世界』17巻6号,
(表紙絵《梅雨の暁》, 池田輝夫・画)



『少年倶楽部』10巻6号, 1923年
(表紙絵《勝敗いづれ》, 高島華宵・画)



『少女画報』15巻11号, 1926年
(表紙絵《紅葉》, 高島華宵・画)



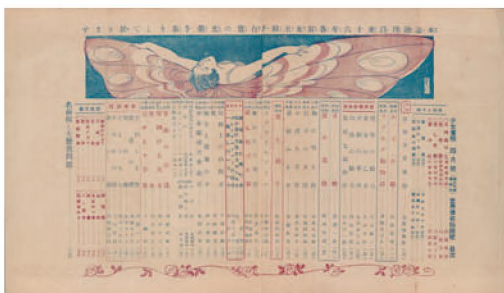
『現代』14巻3号, 1923年
(表紙絵《胡蝶》, 杉浦非水・画)

高島華宵大正ロマン館所蔵 近代日本大衆雑誌図像 データベース

Database of Visual Images in Modern Japanese Popular Magazines
from the Kasho Museum Collection

日文研大衆文化研究プロジェクトとは

日文研が、2016年度から2021年度にかけて、人間文化研究機構・機関拠点型基幹研究プロジェクトとして取り組んでいるプロジェクト(正式名称:「大衆文化の通時的・国際的研究による新しい日本像の創出」)。日本文化全体を構造的・総合的に捉え直すため、大衆文化の通時的・国際的考察に取組み、新しい日本像と文化観の創出に貢献することを目的としています。このデータベースは、本プロジェクトにおける研究成果の一部です。



1



2



3



4



5



6



7



8

大正イマジユリ学会とは

近代日本のイマジユリ——挿絵・ポスター・絵はがき・広告・漫画・写真など大衆的な図像の総称——に関心を持つ人々が集い、意見交換を行う共同の場として、2004年に発足しました。学会活動の中心である研究活動に加え、イマジユリ資料の共有や展示などの活動などを通して、大正イマジユリ研究の深化を目指しています。

高島華宵とは

高島華宵(1888-1966)は、京都市立美術工芸学校で日本画で学んだのち、1911年に手がけた津村順天堂の婦人薬「中将湯」の広告図案で注目を集め、その後大正から昭和初期にかけて、『講談倶楽部』『少年倶楽部』『少女画報』『婦人世界』などの大衆雑誌で挿絵・表紙絵などを描きました。その美少年や美少女の抒情画は「華宵好み」とも呼ばれて、一世を風靡しました。

高島華宵大正ロマン館とは

高島華宵大正ロマン館は愛媛県東温市にある個人美術館です。高島華宵の故郷・愛媛県宇和島市の華宵の実家に残されていた作品資料をコレクションの基盤として、1990年に開館し、華宵の親族によって現在も運営されています。高島華宵の作品と関連資料、大正大衆文化資料など約10,000点を所蔵し、年間3~4回の展覧会を開催しています。また大正イマジユリ学会の事務局を務めています。

【対象資料】

高島華宵大正ロマン館所蔵の大衆雑誌37種405冊

- ・少女向け雑誌(『少女画報』『少女の友』『令女界』ほか)
- ・少年向け雑誌(『少年倶楽部』『日本少年』ほか)
- ・婦人向け雑誌(『婦人世界』『婦女界』『女性』『主婦之友』ほか)
- ・大衆娯楽教養雑誌(『講談倶楽部』『面白倶楽部』『現代』『東京』ほか)など

【件数】

約2500件 公開予定

【主な特徴】

- ・約300名の国内作者、約70名の海外作者による図像(非公開のものを含む)とメタデータが含まれています。
- ・画像を中心とするデジタル化資料を相互運用かつアクセス可能とするための国際的な枠組みであるIIIF(International Image Interoperability Framework)を採用し、一般の方から世界の研究者まで広く活用されることを目的としています。
- ・画像については、著作権保護期間が終了したもの及び著作権者の許可を得たもののみ公開しています。

- 1 『少女画報』16巻4号, 1927年(目次, 高島華宵・画)
- 2 『面白倶楽部』9巻6号, 1924年(目次)
- 3 『少年倶楽部』9巻10号, 1922年(口絵《紅衣の少年》, トーマス・ローレンス・画)
- 4 『婦人世界』22巻4号, 1927年(口絵《春日》, 高島華宵・画)
- 5 『講談倶楽部』14巻11号, 大正13年(口絵《日本左衛門》, 石井涌水・画)
- 6 『少女の友』19巻12号, 1926年(画題《わたしの路》, 竹久夢二・画)
- 7 『女性』5巻5号, 1924年(裏表紙広告・クラブ白粉ほか)
- 8 『東京』2巻5号, (表紙絵《春》, 須藤重・画)

【お問い合わせ】

国際日本文化研究センター(資料課電子情報係)
〒610-1192 京都市西京区御陵大枝山町3-2
<https://www.nichibun.ac.jp>



高島華宵大正ロマン館

〒791-0222 愛媛県東温市下林丙654-1
<https://www.kashomuseum.org>

